



来庁者対応復命書

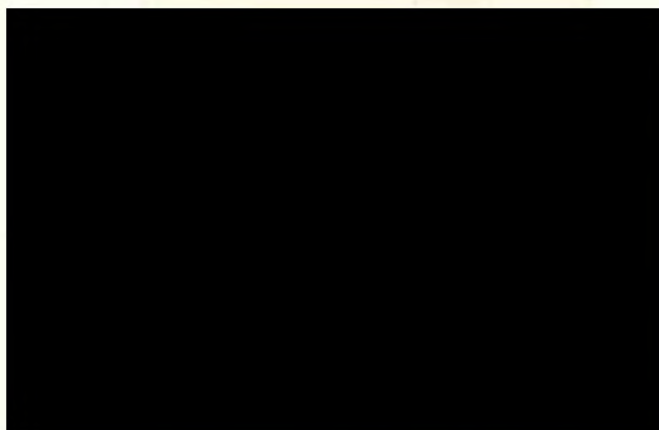
用件	熱海市伊豆山での道路新設計画について
対応場所	所内
年月日	平成19年12月20日(木) 13:30~14:00
来庁者 対応者	治山課
内 容	
<p>来庁用件</p> <ul style="list-style-type: none">・ 12月5日に相談したヘリポートに通じる道路新設を計画しているため、森林法の正式な許可申請をしたいと考えているので、手続きを相談に来た。(ヘリポート整備は当面実施予定無し)・ ついては、文書指導されている箇所と新設道路の面積を合計すると1haを超える(全面積で5ha未満の見込み)ので、森林法の規制の種類、申請から許可までの期間等を聞きたい。・ 土木事務所に提出した防災池の資料を置いていく。・ 今後、 が県との連絡等を担当する。・ 文書指導されている箇所の求積図・復旧計画は早急に提出する。この箇所では9月の台風9号の豪雨時でも下流から濁水による苦情は無かった。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none">・ <u>まず第一に、文書指導に基づく求積図・復旧計画を提出して欲しい。</u>・ <u>林地開発の正式な林地開発申請は、文書指導に基づく求積図・復旧計画の提出と(求積図により違反が確認された場合)復旧作業の完了後となる。(違法行為が解消されなければ申請は受け付けない)</u>・ 森林法に基づく規制としては、①1ha以上の開発を行う場合の林地開発、②保安林指定地での規制(開発行為は不可)、③樹木を伐採する場合の市への伐採届けの3種類が主な規制である。	

- ・ 林地開発許可申請は、許可基準を満たした申請の場合申請受理から2ヶ月程度必要。
(県の森林審議会(3、6、9、12月開催)の意見を得る等のため)
→ 20年3月の審議会に諮問できるように申請したい
- ・ 許可申請に先立ち森林区域の確認や林業関係の規制を調査する「立地調査依頼」を提出してほしい。(申請様式を手渡した)
- ・ 申請に際しては、他の法律に基づく許可等の見込みが必要となる。
求積図による面積算定が必要。(例えば、道路面積=幅員×延長 ではダメ)

平成19年12月20日

以上のとおり復命します。

東部農林事務所長 様



12/20 事務所

調整池の容量計算書

2007年12月



419.12/20.受領,

<参考>. 熱海土木に提出.

調整池の容量概略計算書

この計算書は、伊豆山住宅地開発計画の概略設計にあたり、雨水排水の概要を確認するための基礎資料として作成したものである。開発流域は逢初川流域に含まれるが、逢初川は河川改修が未完成のため開発による雨水排水の増加量に対して調整池を設置しこれに対応する。

計算書の作成にあたり、静岡県「開発許可ハンドブック」を準用した。

1.調整容量の算定

- ① 本開発地域は現況地形からさらに A.B.C の小流域に区分した。
- ② 各流域面積は、A:27.2ha B:8.5ha C:17.4ha である。
- ③ 藍染川の各地点における流下能力が未調査のため、許容放流量は 1/1 確立降雨強度式による。

2.流量計算

ピーク流量の算定は次式による

$$Q=1/360 \times f \times r \times A$$

f : 流出係数 (施工区域は 0.9)

r : 到達時間内の 1 時間降雨強度

A : 流域面積 (ha)

3.調整池の洪水調節方式

自然流下方式とする

4.洪水到達時間

流域から河道に入るまでの流入時間と、流量計算地点までの流下時間の合計時間

5.流出係数

概略計算であり 0.9 とする

6.許容放流量

前述により 1/1 確立降雨強度を用いて、静岡県東部の 27mm/h とする。

7.調節容量の算定

設計基準より

$$V=(r_i \times f_1 - r_c/2 \times f_2) \times 2 t_i \times A \times 1/360$$

ここに、

V : 必要調整量 (m³)

f 1 : 施工後の流出係数 (0.9)

f 2 : 施工前の流出係数 (0.6)

A : 流域面積 (ha)

r i : 1/50 確立降雨強度(95mm/hr)

r c : 許容放流量に対応する降雨強度

t i : 降雨継続時間 (30min)

8.各流域の必要調節容量

50年確立降雨強度を 100mm/hr として求める。

A 流域

$$V=(100 \times 0.9 - 27/2 \times 0.6) \times 2 \times 30 \times 60 \times 27.2 \times 1/360 = 22270 \text{ m}^3$$

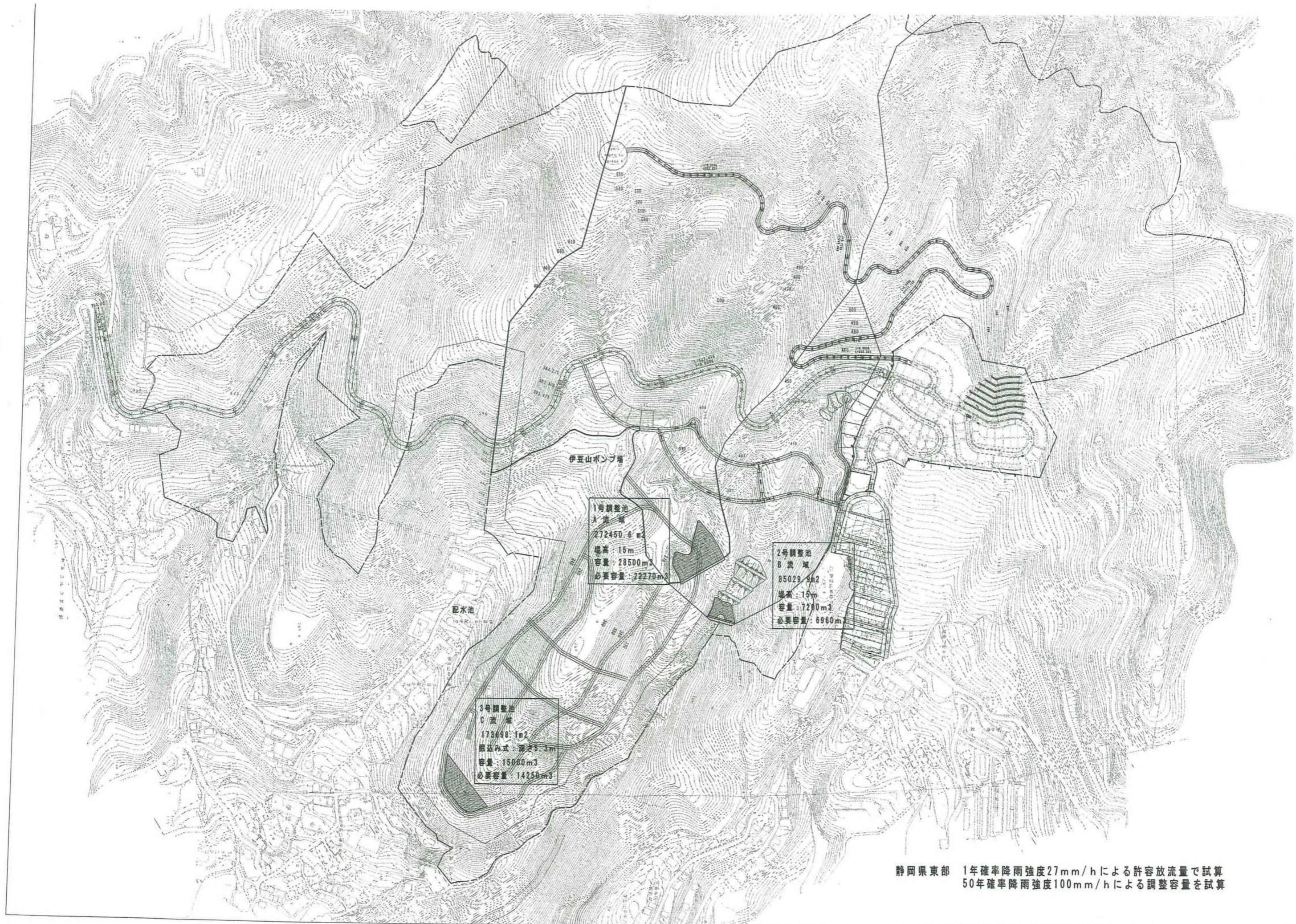
B 流域

$$V=(100 \times 0.9 - 27/2 \times 0.6) \times 2 \times 30 \times 60 \times 8.5 \times 1/360 = 6960 \text{ m}^3$$

C 流域

$$V=(100 \times 0.9 - 27/2 \times 0.6) \times 2 \times 30 \times 60 \times 17.4 \times 1/360 = 14250 \text{ m}^3$$

$$\text{※必要調節量} = 294840/360 = 819.0/\text{ha}$$

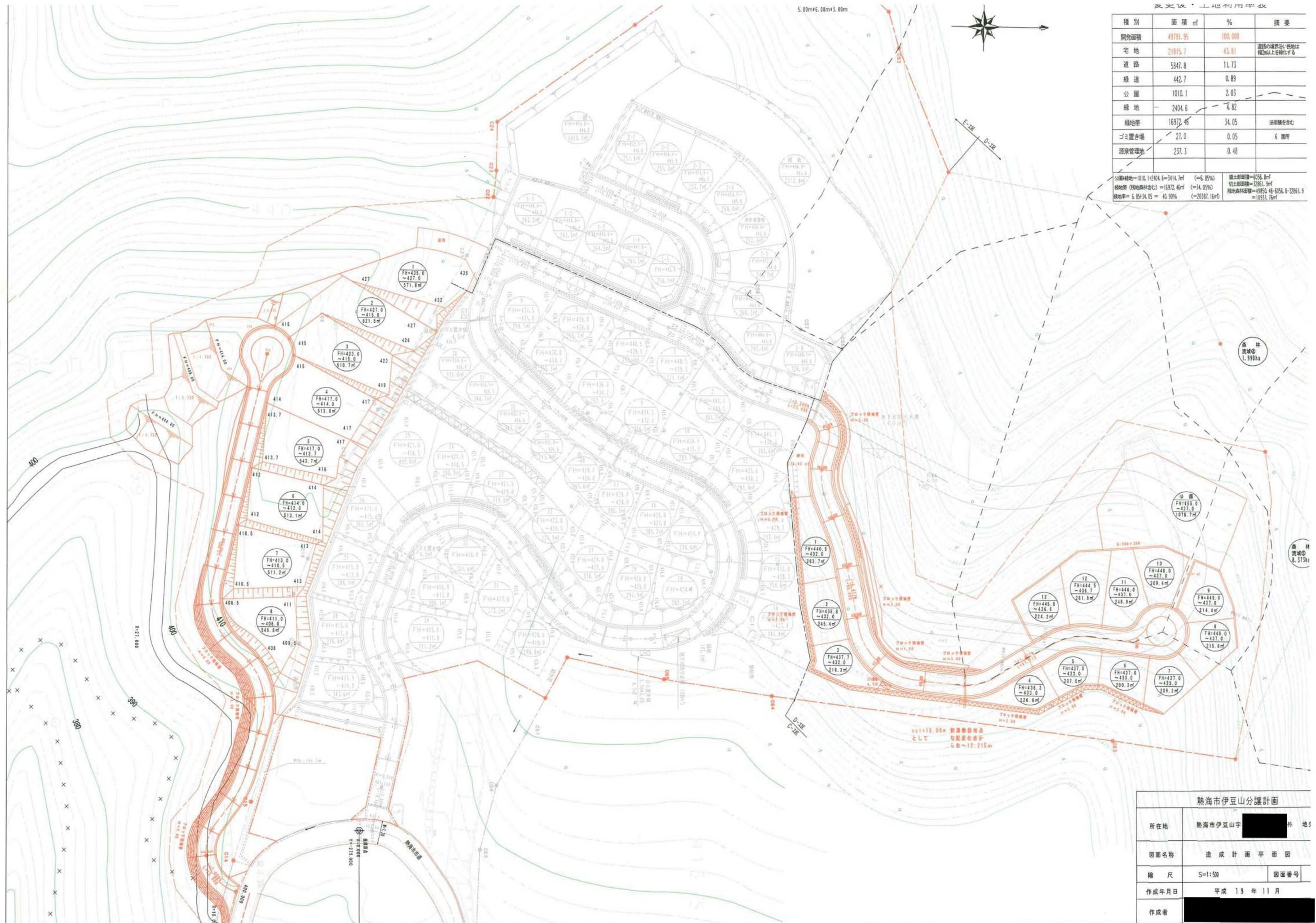


静岡県東部 1年確率降雨強度27mm/hによる許容放流量で試算
50年確率降雨強度100mm/hによる調整容量を試算

表1 土地利用平表

種別	面積㎡	%	概要
開発面積	49791.95	100.000	
宅地	21815.7	43.81	道路の境界線に宅地は概ね以上を補化する
道路	5847.8	11.73	
緑道	442.7	0.89	
公園	1010.1	2.03	
緑地	2404.6	4.82	
緑地帯	16972.46	34.05	法道線を含む
ゴミ置き場	27.0	0.05	6箇所
源泉管理地	237.3	0.48	

公園緑地=1010.1+2404.6=3414.7㎡ (≒6.85%)
 緑地帯(緑地帯中心)=16972.46㎡ (≒34.05%)
 緑地帯=5.85+34.05=40.90% (≒20387.16㎡)
 宅地=21815.7㎡ (≒43.81%)
 宅地=21815.7㎡ (≒43.81%)
 宅地=21815.7㎡ (≒43.81%)



熱海市伊豆山分譲計画	
所在地	熱海市伊豆山字 [] 外 地 []
図面名称	造成計画平面図
縮尺	S=1:500 図面番号
作成年月日	平成 19 年 11 月
作成者	[]